

うまい米づくり情報 第2号

平成30年4月17日
 砺波農林振興センター南砺班
 なんと農業協同組合

1 播種

- ・厚まきやムラまきにならないようにする。

表1 播種量の目安

(g/箱)

品 種	乾 籾	催芽籾
酒米：五百万石・雄山錦・山田錦	140	175g
うるち・もち米：コシヒカリ・てんこもり・新大正糯	120	150g

試し播きにより播種量を確認。
 播種機の調整は忘れずに！

2 ハウス搬出後の管理 ～ハウス内の高温は、病気の発生と軟弱徒長の原因～

搬 出

- ・搬出後に晴天が予想される場合は、覆土を落ち着かせる程度にかん水し葉やケを防ぐ。
- ・ただし、低温日は、かん水を控える。
- ・搬出直後でも、ハウス内の気温が30℃を超える場合は換気する。

緑化(搬出後3日程)

～適切な温度管理、過湿に注意～

- ・寒冷紗の被覆は3日程とする。
- ・第2葉の葉先が寒冷紗の上に出てきたら、寒冷紗をとる。

硬 化

～高温、かん水過多に注意し、早めに換気を！～

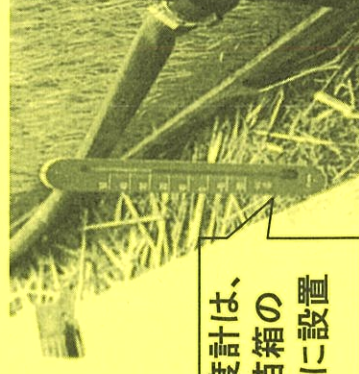
- ・かん水は、1日1回早朝に行う。
- ・田植への1週間前からは夜も換気し、外気に慣らし始める。

表2 ハウス管理の目安

		緑化期	硬化期
育苗日数		2～3日	14～15日
温度管理	昼間	25℃以下	
	夜間	10℃以上	
水 管 理	かん水過多に注意 水不足による葉やケに注意 原則、朝1回 土の乾き具合により適時かん水		
換 気	高温の場合は、換気する。 十分な換気		

温度計は、
育苗箱の
近くに設置

かん水過多では根の伸
びが悪くなる。また、
カビ等が発生しやすく
なるので注意!!



3 病害対策 ～ 病害対策は迅速に！～

- ・防除時期、希釈倍数、使用回数等を確認して適正に使用する。
- ・薬剤を散布する場合は床土を乾かし、かん水を兼ねて行う。

病 害	薬 剤 名	希釈倍数	散布量	使用時期等
青カビ	ベンレート水和剤	500倍	500ml/箱	播種時1回又は播種時と 播種7日後(2回以内)
白カビ	ダコレート水和剤	500倍	500ml/箱	播種時から緑化期 (播種14日後まで)(2回以内)
ムレ苗・立枯病	タチガレエースM液剤	500倍	500ml/箱	播種時又は発芽後(1回)

※特別栽培米は上記の薬剤は使用できません。

※タフブロックを使用した場合、ベンレート剤、ダコレート剤は使用しない。

4 ほ場準備～ほ場の均平に心掛ける！～

- ・あらかじめ、ほ場の高低差をなくし、水管理が均一にできるようにしておく。

※詳細については【営農のてびき】を参照して下さい。お問い合わせは、砺波農林振興センター(32-8147)、JAなんと営農部(62-0261)へ